

鹿児島県漁海況週報

平成22年8月5日発行(7月29日～8月4日)
 第2365報(旧暦:6月18日～6月25日/月齢17.3～23.3/潮汐:中潮～小潮)



鹿児島県水産技術開発センター
 〒891-0315 指宿市若本字高田上160番10号
 TEL:0993-27-9212, FAX:0993-27-9218
 HP: http://kagoshima.suigi.jp/

【海況】

黒潮北縁域(薩南～トカラ群島海域)

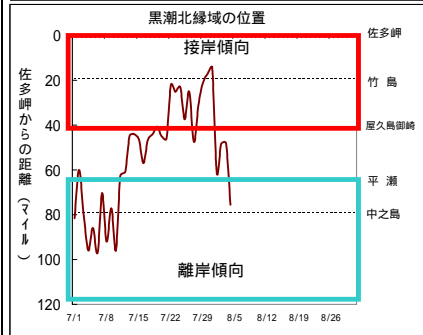
黒潮北縁域は8月4日現在、中之島の北3.5マイル付近にある。

黒潮流軸(種子島東)

種子島東の黒潮流軸は8月3日現在、52マイル付近にある。

定期船等による表面水温

各海域の表面水温は、先週と比較して、黒潮流域は変わらず、鹿児島、屋久島御崎で0.1～0.4 降温し、その他の海域では0.3～1.9 昇温した。平年比較では佐多岬、甌海峡で“かなり高め”、鹿児島、笠利崎、与論で“やや高め”となった他は“平年並み”となった。



表面水温

定点名	実測値	先週比較	平年比較	評価
黒潮流域	29.2	+0.0	+0.0	平年並み
鹿児島	28.7	-0.1	+1.0	やや高め
佐多岬	29.2	+0.6	+1.5	かなり高め
竹島	28.5	+0.4	+0.4	平年並み
屋久島御崎	28.4	-0.4	-0.1	平年並み
中之島	28.5	+0.3	-0.2	平年並み
笠利崎	28.9	+1.2	+0.7	やや高め
与路島	28.7	+0.5	+0.4	平年並み
与論	29.2	+1.2	+0.5	やや高め
甌海峡	29.6	+1.7	+2.0	かなり高め
甌島西	28.2	+1.9	-	-

鹿児島 - 那覇定期客船観測は8/3-4
 串木野 - 甌定期客船観測は8/4
 甌島西(浮魚礁)観測は8/4

【漁況】

定置網

西薩南部海域では、マルソウダ(500～600g)が3トン/日の入網。鹿児島湾口部薩摩半島側では、ハガツオ(1kg)が500～600kg/日、キンガマシ(1.8～2kg)が140～200kg/日、シマシ(0.7～1.2kg)が40kg/日の入網。鹿児島湾口部大隅半島側では、マルソウダ(400～500g)が週計で3トン、アカマス(200g)が1日のみ2トンの入網。大隅半島東部海域では、週計で41統がマシ子、カマス、ソウダガツオ主体に25トンの入網。志布志湾南部海域では、週計でマシ小、マルソウダ、ヤマトカマス主体に10.9トンの入網。

パッチ網

西薩海域では、シラスを加里混じりで0.7～2トン/統/日の漁。志布志海域では、フリマを製品で11.6トンの入網があった。

トビウオローブ曳網

種子島海域では、中ビを10箱/統/日、小ビを20～30箱/統/日の漁。屋久島海域では、中ビを1～2箱/統/日、セミビを10～25箱/統/日の漁。

(まき網、棒受網、カツオ竿釣の漁況は下記の記事に記載しています。)

業種別・漁港別水揚げ状況

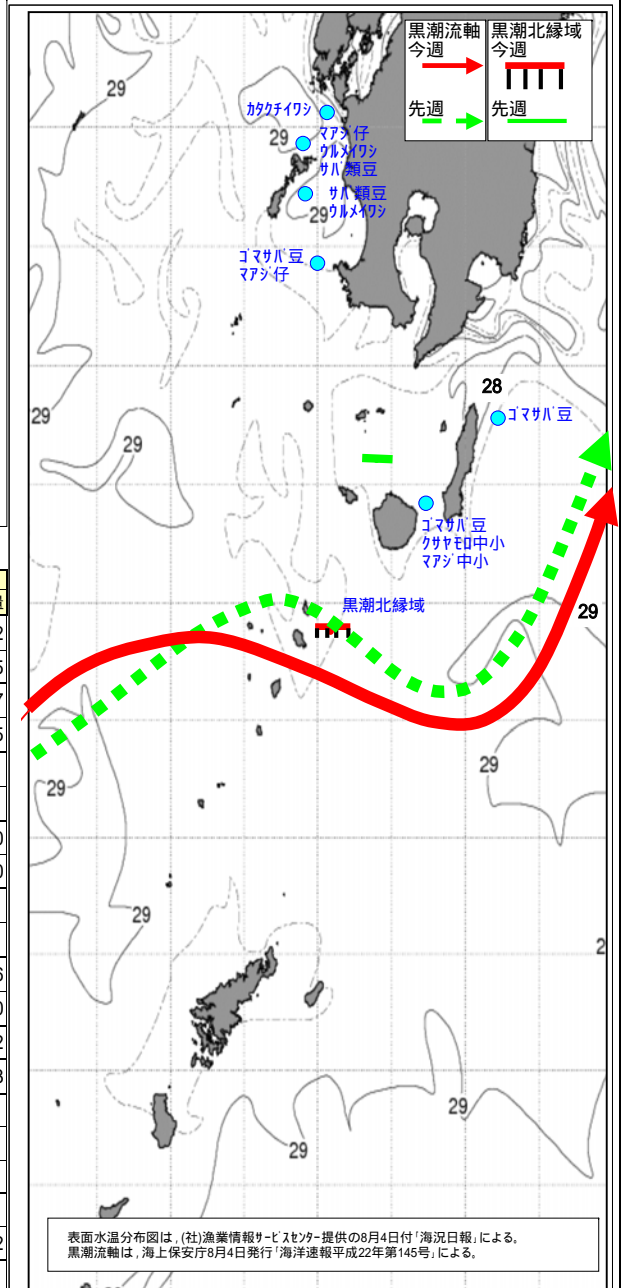
漁業種類	漁港	隻数	漁獲量(トン)	漁場	魚種組成(%)	1日1統	評価	前週		前年同期	
								隻数	漁獲量	隻数	漁獲量
旋網	阿久根	大	0	-		-	-	0	-	1	12
		中	23	210	纒瀬 長島 甌東 阿久根沖	カクチイワシ33 サハ類豆21 マシ子19	9.1	13	139	10	55
	枕崎	大	4	61	島間沖 野間池沖	ゴマサハ豆57 クサヤモロ中小17 マシ中小16	15.1	1	30	3	47
		中	7	124	種子島東 島間沖 野間池沖	ゴマサハ豆96	17.7	2	30	9	145
	内之浦	中	0	-			-	0	-	0	-
	山川	中	0	-			-	0	-	0	-
計	大	4	61			15.1	1	30	4	60	
	中	30	334			11.1	15	169	19	200	
東海旋網	阿久根	0	-			-	-	0	-	0	-
	枕崎	0	-			-	-	0	-	0	-
棒受網	阿久根	75	97	阿久根沖 長島	ウメイワシ71 カクチイワシ20 マイソウ子5	1.3	70	106	110	116	
	内之浦	12	25		ウメイワシ82 サハ類中17		3	4	7	10	
定置網	内之浦	41	25		マシ子40 カマス29 ソウダガツオ22	0.6	45	25	44	22	
刺網	阿久根	大	0	-		-	-	0	-	0	-
		小	0	-			-	0	-	0	-
カツオ竿釣	海旋	1	703		カツオ中81 キルダ16	702.7	2	1,503	0	-	
	山川	中	1	6		カツオ小97		3	36	0	-
	瀬戸内	小	0	-			-	2	1,287	3	1,142

キビナゴ刺網

甌海域では、1～4箱/隻/日の漁。

その他

西薩海域では、ごち網でマガイ(0.3～1kg)を20～75kg/隻/日、チダイ(150g)を40kg/隻/日の漁。カゴでサハフグ(250g)を30～100kg/隻/日の漁。西薩南部海域では、ごち網でマシ(150g)を70kg/隻/日、底曳網でツキヒガイ(100g)を40～50kg/隻/日、まわし刺網でキス(40～50g)を30kg/隻/日の漁。大隅東部海域では、底曳網でイボダイ(150～200g)を50～200kg/隻/日、カゴでマガコ(1～2kg)を10kg/隻/日の漁。種子島海域では曳縄でキルダ(3～5kg)を7～8尾/隻/日、一本釣りでカハチ(2～3kg)を20～50尾/隻/日の漁。屋久島海域では、一本釣りでカハチ(4～5kg)を5～6尾/隻/日、アガイ(0.5～1kg)を2日操業で300kg/隻、ハマダイ(0.7～0.8kg)を2日操業で40～50kg/隻の漁。奄美南部海域では、一本釣りでチウオ(1～2kg)を15～25尾/隻/日の漁。



表面水温分布図は、(社)漁業情報サービスセンター提供の8月4日付「海況日報」による。
 黒潮流域は、海上保安庁8月4日発行「海洋通報平成22年第145号」による。